




様式第1号

令和4年 6月 7日

真庭市議会  
議長 小田 康文様



真庭市議会議員 緒形 尚 

~~調査研究、研修会、要請~~陳情活動届

政務活動費を使用して、下記のとおり研究、調査等を行いますので届けます。

記

1 区 分 ~~調査研究~~ 研修会 ~~要請~~ 陳情活動

2 訪 問 先

生野メインホール  
(兵庫県朝来市生野町口銀谷594-6)

3 内 容

第17回日本オオサンショウウオの会・朝来大会  
同時開催：国際ハンザキシンポジウム

4 行 程 別紙のとおり

5 事務局から訪問先への依頼 必要 ・ 不要

(注) 複数の議員で実施する場合、代表者の届けでよいが、参加議員名簿を添付すること。

● 参加議員

緒形 尚 (明日の真庭を考える会)

● 行程

令和4年6月17日～6月18日

※詳細は別紙

視察日程表 2022/6/17 ~ 6/18

	日付	出発	到着	内容	内容
1日目	6/17	9:55	10:00	自宅出発	車移動
		10:00	11:30	湯原IC → 生野北ランプ	米子道・中国道・播但道
		11:30	11:45	生野北ランプ → 生野メインホール	
		12:00	13:00	受付	
		13:00	13:20	開会あいさつ・セレモニー	
		13:20	14:05	講演・研究報告（アメリカ）	
		14:05	14:50	講演・研究報告（中国）	国際ハンザキシンプोजウム
		14:50	15:10	休憩	
		15:10	15:55	講演・研究報告（日本）	
		16:00	17:00	総合討議（3国研究者による）	
		17:00	18:00	歓迎アトラクション（石刀節披露）	
		18:10	18:30	生野メインホール → ホテルエリアワン和田山	
				ホテルエリアワン和田山（宿泊）	朝来市和田山町玉置767 TEL:079-672-1333
2日目	6/18	8:30	8:50	ホテルエリアワン和田山 → 生野メインホール	
		9:00	10:00	受付	
		10:00	10:30	開会あいさつ・セレモニー	
		10:30	11:30	栃本武良氏を偲んで・記念対談	竹下景子 × 岡田純 (記念対談)
		11:30	12:00	朝来市からの報告	
		12:00	12:40	昼食・休憩	
		12:40	13:30	日本オオサンショウウオの会・総会	日本オオサンショウウオの会
		13:30	15:30	各地からの報告	
		15:30	15:40	休憩	
		15:40	17:00	パネルディスカッション	
		17:00	17:05	休憩	
		17:05	17:20	大会宣言、次期開催地宣言	
		17:30	17:45	生野メインホール → 生野北ランプ	
17:45	19:15	生野北ランプ → 湯原IC			
19:15	19:20	自宅到着			

先着200名

# オオサンの朝来大会

同時開催 国際ハンザキシンポジウム

大会  
申込み  
案内

のぞいてみたい

オオサンショウウオの

知らない世界

撮影：福田幸広、前田麻由美

2022年6月18日(土)～19日(日) (同時開催) 国際ハンザキシンポジウム 6月17日(金)

《場所》生野メインホール (兵庫県朝来市生野町口鎮谷 594-6) 他

《主催》日本オオサンショウウオの会・朝来大会実行委員会

《共催》朝来市 / 朝来市教育委員会 / NPO 法人日本ハンザキ研究所 《後援》兵庫県但馬県民局 / 兵庫県教育委員会

【お問い合わせ】大会事務局(朝来市文化財課) TEL:079-670-7330



オオサンショウウオと共生するまち



様式第2号

# 報告書



令和4年 6月 28日

真庭市議会議長 小田 康文様

報告者 真庭市議会議員 氏名 緒形 尚

下記のとおり政務活動費を使用して 調査研究・研修会・要請陳情活動をいたしましたので、その結果を報告いたします。

1	日 時	自 令和4年 6月 17日 (午前・午後) 9時55分 至 令和4年 6月 18日 (午前・午後) 19時30分
2	場 所	生野メインホール (兵庫県朝来市生野町口銀谷594-6)
3	用 件	第17回日本オオサンショウウオの会・朝来大会 (同時開催：国際ハンザキシンプोजウム)
4	概 要	別紙にて報告

# 第17回日本オオサンショウウオの会・朝来大会 報告書

令和4年6月17日～6月18日

報告者：緒形 尚

## ●京都大学大学院・地球環境学堂准教授：西川 完途氏の講演を聞いて…

オオサンショウウオには一般的にオオサンショウウオ属 *Andrias* の種のことを指し、現生種は日本にオオサンショウウオ *A. japonicus*、中国にチュウゴクオオサンショウウオ *A. davidianus*、スライゴオオサンショウウオ *A. sligoi*、今年になって新種記載されたジャンシーオオサンショウウオ *A. jiangxiensis* の、計4種が知られている。かつて中国にはチュウゴクオオサンショウウオのみが存在し、日本のオオサンショウウオと同種とされていた。しかし、その後は独立種とされ、さらには種内に多くの隠蔽種を含む可能性が示され細分されてきた。中国では今でも細分される可能性があり、日本のオオサンショウウオは種内変異が小さく種を分けるような議論はないのに対し対照的である。

学問的状況の異なる日本・中国のオオサンショウウオであるが、保全上の問題は残念なことに共通している。それは人間による無秩序な個体の移動で、悲しいかなオオサンショウウオは人間に愛されるが故に、勝手に住み場所を変えられたり、養殖のために遠うちいきの個体と交配させられたりしてきた。保護種であるために、持ち込まれた先で保護されるが、遠う地域の個体群は遺伝的にも異なっていることがあるため（場合によっては別種レベルで）、交雑が生じると数百万年以上かけて形成された遺伝的多様種が失われてしまう。ついに、個体の移動は国境を越えて、チュウゴクオオサンショウウオは日本や最近ではベトナムにも持ち込まれ、日本では在来のオオサンショウウオと交雑して交雑個体群が形成されている地域が複数ある。日本・中国のオオサンショウウオは海で隔てられているため、かつて出会う機会を持たなかった。そのため、お互いに種を認識して交雑を避ける進化をする必要性はなかったのだろう。オオサンショウウオは、日本国内、中国国内、日本・中国の間で人為的に個体が移入されてきた。世界的にも有名な国際保護動物であり

ながら、人間による個体の移動によって同属の全種の保全が脅かされてきたという例は少ない。

講演では、日本・中国のオオサンショウウオはなぜ別種なのか？ 交雑個体が増えると何が問題なのか？

オオサンショウウオの地域個体群を保護する意味などについて意見交換をし、現状を踏まえて将来予測や我々の今後とるべき対策について考えていく。

## ●真庭市湯原温泉街のオオサンショウウオ保全等について

オカヤマオオサンショウウオの会（会長：小河原 靖弘）による生息調査の結果、大半の巣穴が土砂流入や河床低下などにより、また河川洪水などのより下流域に流されたオオサンショウウオが、落差工等により上流の巣穴への遡上を阻害していることが分かっている。オカヤマオオサンショウウオの会としては、オオサンショウウオが繁殖行動ができるように環境整備をすることが必要だと改めて感じた。

護岸等で遡上ができなくなった河道落差点への遡上路の整備、河川改修時に河床復元などオオサンショウウオ保全に力を入れることが求められる。

最終的には、オオサンショウウオの生息域内保全にかかる施設の整備を検討していくことも重要である。

田羽根川に、観察小屋を新設し観光客の方にもオオサンショウウオが見れるような整備につなげていきたい。地域の方を巻き込みながら、オオサンショウウオの保全をしていける仕組みをオオサンショウウオの会として整備することも併せて必要だと思います。

おまけ： 記念対談として、女優の竹下景子氏と NPO 日本ハンザキ研究所理事長・岡田純氏が、オオサンショウウオの想いなど対談がありました。

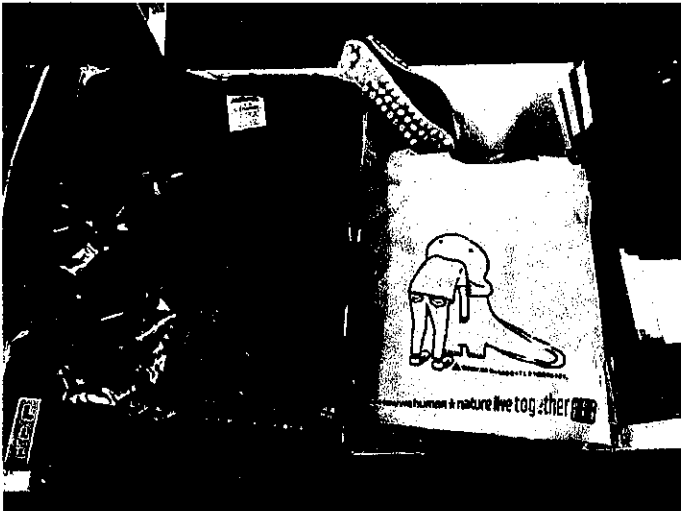
竹下景子さんが、湯原温泉のハンザキ T シャツを購入していただきました（これからは、竹下景子さんご愛用のハンザキ T シャツって言えますね!）



兵庫県朝来市・生野メインホール



開会式典



竹下景子さん購入のハンザキTシャツ



講演の合間に物販販売

国際ハンザキシンポジウムで中国・アメリカとオンラインで進行

